



2017年1月23日
2017年度第7号・通算17号

◇◇ 東京あおぞら連絡会事務局 ◇◇
発行責任者: 大島文雄

Tel : 03-6912-1656
Fax : 03-6304-1418

救済制度創設署名に全力を!!

全国10万筆、そのうち東京5万筆を目標にスタートした請願署名は、第一次集約12月末で15,000筆の超過達成をしました。本部を中心に各地の闘いの結晶です。しかし、第2次集約2月末3万筆、第3次集約3月末5万筆達成には、容易なことではないと思っています。署名を成功させ、紹介（国会）議員を多数、超党派で獲得する取り組みもあります。

あおぞら連絡会は、昨年12月15日「公害をなくし被害者救済を求めて」患者会と歩んだ8年間の活動をまとめたりリーフを作りました。これを武器に頑張らしましょう。また、雑誌、前衛2月号に西村弁護士と嵯峨井教授が「救済制度創設の機は熟している」と論文が出ています。参照して欲しいものです。全力で取り組みましょう。

東京あおぞら連絡会理事長 吉川方章

「新救済制度実現をめざす、国会議員要請行動」

～ 11/24 東京・川崎中心に50名が議員（秘書）に協力の訴え ～

現在取り組んでいる国会請願署名の提出には「紹介議員が必要」です。

併せて、前回の教訓から「制度創設を応援する議員連盟（議員懇談会）も作ってもらわなければなりません。今回の要請はその第一回目の行動で、東京は患者さん・あおぞら理事等32名が「都選出（関係）の衆参国会議員約100名の事務所を訪問し、早速その日に一人がサインしてくれました。

過労死家族の会の中原のり子会長が応援してくれて、貴重なアドバイスも頂いています。

引続き 要請活動にご協力お願いします。

連絡会事務局長 大島文雄

「医療費救済制度創設」をめざす署名・宣伝行動

足立連絡会、葛飾青空の会の共同行動（12月8日 亀有駅）



撮影・足立連絡会 柏葉長一